

2023 年度

<農 学 部>  
小 論 文 問 題

注 意 事 項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は全部で2ページ、解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の所定欄に、受験番号（左右2箇所）、氏名を必ず記入すること。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- 5 解答は、「横書き」にすること。
- 6 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とすることがある。
- 7 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
- 8 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

(余 白)

## 問題

情報社会においては膨大なデータを扱うために常にIT（情報技術）を用いている。AI（人工知能）を用いたアルゴリズム（計算手順）によるデータの検索や絞り込みは非常に便利であり、高い効率で目的の情報にたどり着くことができる反面、アルゴリズムによっては扱うデータが限定されたり偏った情報が与えられるおそれがある。インターネットのEC（電子商取引）サイトやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）で、閲覧履歴などから分析された利用者の好みに基づいた「おすすめ」にうんざりした経験がある人も多いはずである。

一方、自然科学においてはセレンディピティが重要だといわれている。セレンディピティとは「偶然的な出会い」を意味する言葉である。近代細菌学の祖とされるルイ・パスツールが「チャンスは心の準備ができている者を好む（Chance favors the prepared mind）」と表したように、研究者には予期せずに偶然発見したものをつかみとるための不断の努力も必要である。

情報過多の時代にあって、自然科学者はITとどのように共存すべきか、あなたの考えを600字以上800字以内（句読点を含む）で論述せよ。（200点）